

開発会議の様子

中農生の声



昨年9月、中央農高食品加工部の生徒とローソン商品開発担当者との初顔合わせを、中央農高会議室で行いました。

「はじめは面接を受けているようで緊張しました。厳しいコンビニ業界の商品を開発できるのか?ととても不安でした。でも、ローソンの方々の分かりやすく楽しいトーク、そして『売り上げを気にせず、自分たちが食べたいものを作ればいいんだよ。楽しんでやってみて!』の一言で一気に盛り上がりました」

ローソンとコラボレーションできること自体が驚きで、興奮した一日でした。

11月、ローソン本社でサンプルの試食会を実施しました。

「前もって提出してあった企画書のプレゼンを行いました。イメージしたイラストのお弁当が、そのままの形ででき上がっていたことにとっても驚きました。商品開発のノウハウについても、ひとつひとつ丁寧に教えてくださいました」

顧客のターゲット・価格・パッケージデザインなど、まだまだ課題は山積みですが、自分たちが「耕作放棄地」で育てている小麦「ユメシホウ」を使用することが決まり、うれしい一日となりました。



ローソンのお弁当工場見学。
「あの弁当!きのう食べたやつじゃない?」
実際に作っている所を見て大興奮でした!



12月には食の創造館2階の調理実習室で、2度目の試食会。「少し塩分が強くない?」「もう少し緑が鮮やかな方がいいよ」など、それぞれが食べた感想を出し合いました。試食後、ローソンの担当者に味付けなどの希望を伝え、約4カ月続いた開発会議が終了しました。

これが完成品です!



半熟卵のミートパスタ



春のよくばり弁当



つぶつぶ苺の
ホイップクリームケーキ

ふあふあ
オムミートパン



食品加工部マスコット「ちゅう菜ちゃん」と「えび〜にゃがお弁当のパッケージに印刷されていますよ!

オリジナル商品は、パスタ・お弁当・ケーキ・パンの4商品。中でも「半熟卵のミートパスタ」は、同高の生徒たちが育てた小麦「ユメシホウ」のパスタを使用。もちもちした食感が特徴のパスタに半熟卵とミートソース、ホワイトソースを合わせ、微妙な麺の固さの違いにまでこだわった一品です。

海老名を知って

問 商工課 ☎(235)4843



もらいたい!

プロジェクトに参加した、中央農業高校食品加工部のメンバー



県立中央農業高校×ローソンのオリジナル商品ができました

「市内で商売をしている者として、海老名のPRや知名度アップにつながるようなことができないかという思いから、地元の高校生とタイアップした弁当開発を提案しました」と笑顔で語る、市内のローソンオーナーの皆さん。オーナーの熱意に憐れローソンも賛同、昨年の8月から今回のプロジェクトが始まりました。

開発したオリジナル商品は3月26日(火)から2週間(予定)、関東甲信越全域(約3,100店舗)で販売(パスタは海老名近郊の店舗のみ)しています。たくさんの思いが詰まった商品です。ぜひ、ご賞味ください!

インターネット放送局配信中
No.194「海老名をPRしたい!~海老名発オリジナル商品発売~」

海老名市インターネット放送局 検索

私たちが提案しました!



市内のローソンオーナー/ (左から) 池田さん、柴田さん、山道さん